

しおかぜ通信

編集・発行
神戸市立医療センター中央市民病院
広報委員会
TEL 078-302-4321ホームページ <http://chuo.kcho.jp>

精神・神経科の紹介

精神・神経科 北村 登

精神・神経科（精神科と略します）の扱う病気は様々です。代表的なものとして、うつ病など気分の障害、統合失調症といわれる知覚・思考・情動など多くの精神機能に影響を与える障害、そして神経症（普通の精神機能である不安などが病的に強くなるなど）があります。高齢化社会をむかえ認知症の診断・治療も行います。さらに児童などの発達の問題も守備範囲です。ということは、精神科は誰もが人生で遭遇するかもしれない、いや遭遇する可能性が高い病気・障害を扱う科です。

最近ではNHKでも精神疾患をよくとりあげ、以前のように特殊な病気であるかのような認識は減ってきているのかもしれませんが、特に自殺との関係から、うつ病が取り上げられる機会が多いようです。では私たち精神科はどのような治療を行っているのでしょうか。一般的な精神科の治療は、これは皆さんが思っておられるイメージとは違うかも知れませんが、薬物療法がその中心です。精神療法やカウンセリング—精神科—という誰もがイメージする—も治療上で重要な選択肢にあげられます。特にその人の物の見方や生活史などが症状に大きな影響を与えている場合は有効だと思います。薬物療法の場合は抗うつ薬、抗不安薬、そして抗精神病薬などを使います。

精神疾患の原因はすべて不明です。これは精神症状が患者さんから述べられ、また治療者から観察されるもので、医療機器を使った客観的な指標がないことも一因だと思います。「うつ病」と診断されるものの背後に何個のうつ病があるのでしょうか。その人の性格や、おかれている環境も症状に影響していると考え、何百・何千もの「うつ病」が存在していると思います。それを一括りにして「うつ病」と診断するところに精神科の限界があるようです。しかし治療の面ではそれほど悲観的には考えていません。患者さんの治療にあたり、当初は山あり谷ありで患者さんの期待に添えないことも多いのですが、時間も味方になると多くの方が良くなってきます。もし精神的な症状で悩んでおられ、ご自身で解決できない場合はいつでも私たちを利用していただければと思っています。



当 医 一 覧 表

(専門センター外来)

平成 23 年 12 月 1 日より

心臓センター外来						
循環器内科 11						
	診察室	月	火	水	木	金
1 診	C270 [7270]	古川	★西野	★古川 135 ★谷 24	古川	木下
2 診	C271 [7271]	★本田	江原	山室	谷	加地
3 診	C272 [7272]	北井	金	小堀 (不整脈)	★井手	★豊田
特殊外来 (14~16時)	C273[7273]、 C211、212、214、215				ペースメーカー 外来	
心臓血管外科 26						
	診察室	月	火	水	木	金
1 診	C273 [7273]	庄村	小山	藤原	岡田	湯崎

脳神経脳卒中センター外来						
脳神経外科 28						
	診察室	月	火	水	木	金
1 診 脳血管外科	C260 [7260]	坂井	★今村	★足立	★蔵本	★上野
2 診 一般脳外科	C261 [7261]	★石川	池田	浅井	[稲田] [柴田]	小倉235
専門外来(午前)	C261		佐藤		篠田	松田 脊椎外来1
神経内科 14						
	診察室	月	火	水	木	金
神経内科 脳血管	C262 [7262]	山上	[菅生] [関谷]	山本	川本	藤堂
神経内科 脳神経筋	C263 [7263]	幸原	川本	吉村	幸原	吉村
PHS 7263 までお問い合わせ下さい						

感覚器センター外来						
耳鼻咽喉科 38						
	診察室	月	火	水	木	金
1 診	C256 [7256]	交替	篠原	菊地	内藤	藤原
★2 診	C257 [7257]	交替	山崎	原田	栗原	岸本
3 診 再診	C258 [7258]		菊地	篠原	藤原	内藤24
専門外来 (午後)			頭頸部外科1 篠原		難聴1 内藤	
			頭頸部外科2 菊地		難聴2 藤原	

眼科 37						
	診察室	月	火	水	木	金
★初診	C241 [7241]	宮本 135 小島 24	石田 135 伊藤 24	栗本 (紹介)	広瀬 135 平見 24	亀田 135 畑 24
★初診	C247 [7247]			松木		
再診	C243 [7243]	亀田	宮本	石田	栗本	小島
再診 (午前のみ)	C244 [7244] C245 [7245]	伊藤	広瀬	平見	黒田	松木
専門外来 (午前)		検査外来 屈折外来	色変外来 屈折外来	屈折外来	屈折外来	検査外来 屈折外来
特殊外来 (午前)		ERG 24 未熟児	コンタクト135		神経眼科	
専門外来 (午後)		ロービジョン 斜視 レーザー	黄網膜循環	斑緑内障 UBMヒンヤテ	ロービジョン 角膜外来 レーザー	糖尿病

専門医療センター外来						
泌尿器科 33						
	診察室	月	火	水	木	金
★初診	C223 [7223]	交替	交替	交替	交替	交替
PHS 7223 までお問い合わせ下さい						
再診	C224 [7224]	清川	宇都宮	川喜田	交替	六車
再診	C225 [7225]	常森		松本		河野 135 川喜田 24
専門外来 (午前)			移植外来 透視検査	E S W L 透視検査		移植外来
専門外来 (午後)		透視検査 E S W L	神経因性膀胱 自己導尿外来 (平原)		男性外来 24 (思春期・ ED・更年期 (石川))	透視検査 E S W L
産婦人科(婦人科) 35						
	診察室	月	火	水	木	金
★1 診	C230 [7230]	青木	北	星野	今村	北
2 診	C234 [7234]	高岡	北村	須賀	宮本 ^和	大竹
3 診	C222		平尾			小山

3 階						
産婦人科(産科) 35						
	診察室	月	火	水	木	金
1 診	H101 [7101]	宮本 ^和	青木	今村	高岡	星野
★2 診	H102 [7102]	小山	須賀	大竹	北村 林	宮本 ^幸 平尾
特殊外来	H103	助産師外来		助産師外来		超音波外来
小児科 22						
	診察室	月	火	水	木	金
1 診	I-107 [7107]	★春田	★春田	★春田	吉田	★高野
2 診	I-104 [7104]	山川	岡藤	舞鶴	長井	田中
3 診	I-103 [7103]	岸本	渡邊		★宇佐美	田村
専門外来 (午後)		心臓外来 山川 アレルギー 岡藤		血液腫瘍 宇佐美	予防接種 春田 25 交替 134	
特殊外来 (午後)			育児相談 宇都宮1234 休診 5	育児相談 今井1234 休診 5	新生児 未熟児 山川	

1 階						
放射線治療科 43						
	診察室	月	火	水	木	金
1 診	診察室1 [7331]	高山	小坂	高山		小坂
★2 診	診察室2 [7332]	宇藤				宇藤
3 診	C212	2階 がんセンター外来参照				

4 階						
麻酔科 45						
	診察室	月	火	水	木	金
1 診	401 [7311]	東別府	山崎	美馬	宮脇	岡崎

- (注) ① 診察室の [] 内はPHS番号を表わす
 ② ★□は、初診担当 ③ [] は、隔週交替
 ④ □は、午前/午後を表わす
 ⑤ 数字は実施週・担当週を表わす

新病院での取り組み

呼吸器内科 富井啓介

新病院移転後もこれまで同様各種呼吸器疾患の重症例、難治例を中心に、神戸市の最後の砦として機能していきたいと考えます。その中でも特に今後強化していきたい点がいくつかあります。

1) 「呼吸不全の地域連携」。

あらゆる疾患に伴う急性呼吸不全、慢性呼吸不全急性増悪をいつでも受け入れ、最新の人工呼吸器などによる呼吸管理、リハビリテーションを積極的に行い、円滑かつ早期に在宅もしくは地域に再びお返しする流れを構築していきたいと思えます。

2) 「見捨てない肺癌診療」。

先端医療センターならびに当院呼吸器外科、放射線科と連携の上で、病状に応じた最善の方法を多数の治療手段の中からの確に選択しています。化学療法は外来施行を基本とし、患者さんの日常生活を維持しながら快適に療養できるよう努力いたします。また残念ながら病状の進行した場合は診療所や在宅ホスピスなど、療養しやすい環境への移行が円滑となるよう多方面から援助していきます。

3) 「難治疾患に対する積極的な介入」。

間質性肺炎に代表される難治性びまん性肺疾患、重症難治性喘息、重症慢性閉塞性肺疾患など、これまで確立した治療法がなかった患者さんに対して、積極的な新薬の適応、治験や臨床研究への参加など、新しい治療法の発見、開発に努めていきます。

先進的で機能的にデザインされた新病院にふさわしい診療が、公平かつ適正に広く市民の皆様にお届けできるよう頑張りたいと思えます。

麻酔科 山崎和夫

新病院では最新機器と新規システムの導入により今まで以上に安全に麻酔を行うことが出来るようになりました。

1. 麻酔科術前外来の開設

入院前に全身状態、服薬内容、アレルギーの有無などを入念にチェックします。持病がある場合にも手術時には最良の状態になるよう調整に努めるとともに最適な麻酔法を検討いたします。数日間の短期滞在手術を受ける方は手術当日に入院することも可能になりました。

2. 手術室の機能強化

新病院の中央手術室は旧病院の16室より2つ多い18室となるとともに生体監視モニターや手術器具も最新のものが導入され、より多くの方に安全に手術を受けて頂けるようになりました。また、一つの手術室で血管造影と外科的手術が可能となる“ハイブリッド手術”も出来ましたので今まで以上に高度医療を行うことが可能になりました。

3. 集中治療部門の強化

新病院では救急外来を受診した超重症患者を治療するE-ICU（救急部集中治療部）8床、急性心筋梗塞を中心とした重症心臓血管系疾患を治療するCCU 6床、大手術後や入院中に重症化した患者を治療するG-ICU（総合集中治療部）8床、計22床と旧病院よりも7床増加しました。麻酔科は主にG-ICUで治療に当たりますが、救急部医師、循環器内科医師のほか各科医師と連携・協力してE-ICUやCCUでの治療にも参加いたします。